



【ご紹介】パブリックコメント：耐火構造等の告示改正案について

耐火構造等の構造方法を定める件

H29年11月に国土交通省より【耐火構造(告示第1399号)】・【準耐火構造(告示第1358号)】について、告示改正案に関するパブリックコメント(意見公募)が出されました。概要を下表に示します。なお、意見の公募期間は既に終了しています。

防耐火区分	部位	構造・下地	防火被覆
耐火構造 (2時間)	柱	鉄骨造※ ¹	・けい酸カルシウム板(かさ比重0.35以上)50mm以上 ・けい酸カルシウム板(かさ比重0.15以上)55mm以上
	はり	鉄骨造※ ¹	・けい酸カルシウム板(かさ比重0.35以上)45mm以上 ・けい酸カルシウム板(かさ比重0.15以上)47mm以上
耐火構造 (1時間)	柱	鉄骨造※ ¹	・けい酸カルシウム板(かさ比重0.15以上)27mm以上
	はり	鉄骨造※ ¹	・けい酸カルシウム板(かさ比重0.15以上)25mm以上
	柱・はり	木造・鉄骨造※ ¹	・強化せっこうボード総厚46mm以上(2枚以上張ったもの)
	床	木造・鉄骨造※ ¹	・強化せっこうボード総厚42mm以上(2枚以上張ったもの)【表側】および 強化せっこうボード総厚46mm以上(2枚以上張ったもの)【裏側又は直下の天井】
耐火構造	屋根	木造・鉄骨造※ ¹	・強化せっこうボード総厚27mm以上(2枚以上張ったもの)
	階段	木造	・強化せっこうボード総厚46mm以上(2枚以上張ったもの)
準耐火構造	屋根	—	・構造用合板等※ ² 9mm以上【野地板】および 強化せっこうボード12mm以上【屋内側又は直下の天井】

※1: 鉄骨断面積(mm²)を加熱周長(mm)で除した数値が6.7以上のH形鋼ならびに鋼材の厚さが9mm以上の角形鋼管及び円形鋼管

※2: 構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード、硬質木片セメント板、その他これらに類するもの

これらの内容が認められれば、現行の告示に対して上記の仕様が新たに追加される予定です。

【開催報告】GBRC業務説明会 「防耐火構造・防火材料の性能評価について」

昨年11月10日(金)に、当法人で防耐火構造・防火材料の大臣認定を取得された経験のある方を対象に、防耐火構造・防火材料の性能評価に関する業務説明会を開催しました。



業務説明会の様子

当日は104名の方々にご参加いただき、説明会時に実施したアンケートでは、防耐火関係の告示化の動向や試験体選定等の具体的なルールに関して、もっと詳しく知りたい等、多くのご質問とご意見を頂戴しました。

頂戴しましたご意見は今後の業務や、メールマガジン、業務説明会の参考にしたいと考えております。

なお、次回の業務説明会は、再来年度に開催予定です。次回も、ご参加いただけますと幸いです。

2017年度業務説明会のプログラム

内容
1.主催者挨拶
2.性能評価とは
3.試験体の選定方法について他
4.評価図書作成方法について
5.試験体製作時の注意点について
6.耐火防火試験室(池田)第3期棟 建設工事について
7.最新情報(告示化等)

【お知らせ】耐火防火試験室(池田)への 防火材料試験装置移設について

防火材料の試験(発熱性試験等)は4月中頃から耐火防火試験室(池田)で実施します。

3月15日より試験装置を本部(吹田)から移設し、試験設備の調整を行いますので、下記の期間は試験業務を停止いたします。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

・期間:3月15日~4月中頃
(調整の進捗により再開の時期が前後する可能性もあります。)

本部(吹田)



~3/14

池田



4月中頃~

移設・調整



【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。私の年末年始休暇は、背中に痛みが走るほどにたっぷりと惰眠をむさぼり心も体もすっかりリフレッシュしましたが、皆様はいかがでしたでしょうか。

さて、今年は耐火防火試験室(池田)の第3期棟がいよいよ完成し、防耐火構造・防火材料試験業務の両方が順次移転を行って参ります。我々GBRC職員も新棟に負けずにリフレッシュした気持ちで業務に一層励んで参りますので、どうぞ今年もGBRCを宜しく願います。

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
 建築確認評定センター 性能評定課
 担当：中野、豊田、門岡、松田、長野（防耐火構造、防火設備）
 中道、正木（防火材料、飛び火）
 TEL：06(6966)7600 FAX：06(6966)7680
 E-mail：seinou2@gbrc.or.jp